

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1103

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学		科目開講 キャンパス	本学		
2. 科目名	正式科目名	中・四国地域経済・金融事情			クラス名	
	副題				配当年次	3
	旧科目名				受入学年	3年以上
	学問分野	番号	23	名称	経済学	
サテライトで開講される科目の科目群		A群		B群		
3. 担当教員名	高倉 文年・経済・教授 / 重本 洋一・経済・教授 / 楊 義申・経済・准教授					
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期			
6. 開講期間 曜日・時間	2017年4月12日(水)～2017年7月26日(水) 水曜日 14:45～16:15					
個別開講日	1回目 4/12	2回目 4/19	3回目 4/26	4回目 5/10	5回目 5/17	6回目 5/24
	7回目 5/31	8回目 6/7	9回目 6/14	10回目 6/21	11回目 6/28	12回目 7/5
	13回目 7/12	14回目 7/19	15回目 7/26	16回目 /	試験日 /	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (120人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>1. 到達目標 中・四国地域経済・金融分野の第一線で活躍の先生方の実体験を踏まえた講義から、毎回、広い意味で少なくとも何か一つを手にし、それを記録することを目標とします。</p> <p>2. 授業内容 この講義も今年度で15年目となりました。この講義では、中・四国地域における産業構造の変化、特に金融グローバル化の流れの中で加速されている金融市場の多様化等が中心テーマです。実際の講義では、現実経済の諸事情に明るく、また中・四国の産業界の第一線で活躍の先生方が講師を務めてくださいます。したがって、金融業界を取り巻く厳しい環境の下で、過去の成功体験と決別するような経営革新への取り組みの一端にも触れることができるかと思えます。また、この講義が受講生にとって、今後の就職活動の一助にもなれば幸いです。</p> <p>3. 授業計画 第1回 「イントロダクション」(高倉 文年) 第2回 「中国地域経済の概要と課題」(社団法人中国地方総合研究センター常務理事 石井浩一氏) 第3回 「日本の産業と中国地域の経済・産業(1)」～中国地方の現状と課題～ (中国電力株式会社 エネルギア総合研究所部長 増矢学氏) 第4回 「日本の産業と中国地域の経済・産業(2)」～中国地方の特徴と経済の今後～ (中国電力株式会社 エネルギア総合研究所部長 増矢学氏) 第5回 「地域金融機関と監督行政」 (財務省 中国財務局 金融監督官 村上勝彦氏) 第6回 「金融政策とお金のはなし」(日本銀行 広島支店長 金田一弘雄氏) 第7回 「日本政策投資銀行の役割」(日本政策投資銀行 中国支店支社長 曾根嘉太郎氏) 第8回 「生活保障と生命保険」(日本生命保険相互会社 富山支社 法人職域部長 中村聡氏) 第9回 「信用金庫の特色と役割」(広島信用金庫専務理事 曾川祐治氏) 第10回 「地方銀行の歴史と中国地方における役割」(財団法人ひろぎん経済研究所 理事 東山護氏) 第11回 「損害保険の仕組みと働き」(東京海上日動火災保険中国損害サービス部部长 熊木秀氏) 第12回 「地域金融における信用組合の役割」(広島市信用組合理事長 山本明弘氏) 第13回 「食と農のはなし」(広島県農業協同組合中央会専務理事 坂本和博氏) 第14回 「中国直接地域経済のグローバル化」(日本貿易振興機構 広島貿易情報センター所長 高橋弘紀氏) 第15回 「直接金融と証券会社の役割」～証券市場を取り巻く環境～ (ウツミ屋証券本店営業企画投資情報部 理事・部長 紙永 誠氏)</p> <p>4. 教科書 使用せず。毎回、講義の際に資料を配布します。</p>					
11. 試験・評価方法	出席(感想文)、受講態度、レポートで総合評価します。					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項	受講心得:無意味な遅刻、受講中の携帯、不必要な私語、飲食、着帽は厳禁です。					
14. サテライト科目の社 会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ			可	否	
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ			可	否	